2020(令和２)年　農林業センサスの結果

（令和２年２月１日現在）

Ⅰ　調査のあらまし

１ 調査の目的

2020 年農林業センサスは，統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 2 条第 4 項に基づく基幹統計調査（基幹統計である農林業構造統計を作成するための調査）として，農林業の生産構造及び就業構造等の実態や農山村地域の現状を把握することにより，農林業に関する諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的とする。

２ 調査の根拠

統計法，統計法施行令（平成 20 年政令第 334 号）及び農林業センサス規則（昭和 44 年農林省令第 39 号）に基づき実施。

３ 調査の期日

令和 2 年 2 月 1 日現在で実施。

４ 調査の体系

調査は，農林業経営を把握するため個人，組織，法人などを対象に行う農林業経営体調査及び農山村の現状を把握するため全国の市区町村や農業集落を対象に行う農山村地域調査に大別される。

調査の種類	調 査 の 系 統	調 査 方 法
農林業経営体調査	農林水産省 －北海道 －旭川市 －指導員 －統計調査員 －調査対象（農林業経営体）	調査員が調査対象に調査票を配布･回収する自計調査（オンライン回収も可能）
農山村地域調査 （市区町村調査）	農林水産省 －調査対象（市区町村）	オンライン（電子メール）又は往復郵送により配布・回収する自計調査
農山村地域調査 （農業集落調査）	農林水産省（民間事業者又は北海道農政事務所） （－統計調査員） －調査対象（集落精通者）	民間事業者による往復郵送（オンライン回収含む。）又は北海道農政事務所職員による自計調査 （民間事業者による未回収分は調査員調査による自計調査又は面接調査）

※試験研究機関，教育機関，福利厚生施設その他の営利を目的としない農林業経営体を除く。

５ 調査事項

【農林業経営体調査】

（１）経営の態様

（２）世帯の状況

（３）農業労働力
（４）経営耕地面積等
（５）農作物の作付面積等及び家畜の飼養状況
（６）農産物の販売金額等
（７）農作業受託の状況
（８）農業経営の特徴
（９）農業生産関連事業
(10) 林業労働力
(11) 林産物の販売金額等
(12) 林業作業の委託及び受託の状況
(13) 保有山林面積
(14) 育林面積等及び素材生産量
(15) その他農林業経営体の現況

６ 2020 年農林業センサスにおける主な変更点

（１）調査対象の属性区分の変更

2005 年農林業センサスで農業経営体の概念を導入し，2015 年調査までは，家族経営体と組織経営体に区分していた。2020 年調査では，法人経営を一体的に捉えるとの考えのもと，法人化している家族経営体と組織経営体を統合し，非法人の組織経営体と併せて団体経営体とし，非法人の家族経営体を個人経営体とした。

（２）調査項目の新設

ア　青色申告の実施の有無，正規の簿記，簡易簿記等の別
イ　有機農業の取組状況
ウ　農業経営へのデータ活用の状況

（３）調査項目の削減

ア　自営農業とその他の仕事の従事日数の多少（農業就業人口の区分に利用）
イ　世帯員の中で過去 1 年間に自営農業以外の仕事に従事した者の有無（専兼業別の分類に利用）
ウ　田，畑，樹園地の耕作放棄地面積
エ　農業機械の所有台数
オ　農作業の委託状況
カ　農外業種からの資本金，出資金提供の有無
キ　牧草栽培による家畜の預託事業の実施状況等

７ 用語の解説

（１）農林業経営体

農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い，生産又は作業に係る面積・頭羽数が，次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

ア　経営耕地面積が 30 a 以上の規模の農業

イ　農作物の作付面積又は栽培面積，家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数，その他の事業の規模が次の農林業経営体の基準以上の農業

①露地野菜作付面積　15 a
②施設野菜栽培面積　350 ㎡
③果樹栽培面積　10 a
④露地花き栽培面積　10 a
⑤施設花き栽培面積　250 ㎡
⑥搾乳牛飼養頭数　1 頭
⑦肥育牛飼養頭数　1 頭
⑧豚飼養頭数　15 頭
⑨採卵鶏飼養羽数　150 羽
⑩ブロイラー年間出荷羽数　1,000 羽
⑪その他　調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模

ウ　権原に基づいて育林又は伐採（立木竹のみを譲り受けてする伐採を除く。）を行うことができる山林（以下「保有山林」という。）の面積が 3ha 以上の規模の林業（調査実施年を計画期間に含む「森林経営計画」を策定している者又は調査期日前 5 年間に継続して林業を行い，育林若しくは伐採を実施した者に限る。）

エ　農作業の受託の事業

オ　委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業（ただし，素材生産については，調査期日前 1 年間に 200 ㎥以上の素材を生産した者に限る。）

（2）農業経営体

農林業経営体のうち，ア，イ又はエのいずれかに該当する事業を行う者をいう。

（3）林業経営体

農林業経営体のうち，ウ又はオのいずれかに該当する事業を行う者をいう。

（4）個人経営体

個人（世帯）で事業を行う経営体をいう。なお，法人化して事業を行う経営体は含まない。

（5）販売目的

農林業経営体のうち，ア，イ又はウのいずれかに該当する場合をいう。

（6）後継者

5 年以内に農業（林業）経営を引き継ぐ後継者（予定者を含む。）をいう。

（7）経営耕地

調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地（けい畔を含む田，樹園地及び畑）をいい，自ら所有し耕作している耕地（自作地）と，他から借りて耕作している耕地（借入耕地）の合計である。土地台帳の地目や面積に関係なく，実際の地目別の面積とした。

（８）農産物販売金額

肥料代，農薬代，飼料代等の諸経費を差引く前の売上金額（消費税を含む。）をいう。

（９）基幹的農業従事者

15 歳以上の世帯員のうち，ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

(10) 農家

調査期日現在で，経営耕地面積が 10 a 以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が 10 a 未満であっても，調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 15 万円以上あった世帯をいう。

(11) 販売農家

経営耕地面積が 30 a 以上又は調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円以上の農家をいう。

(12) 自給的農家

経営耕地面積が 30 a 未満かつ調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円未満の農家をいう。

(13) 保有山林

自らが林業経営に利用できる（している）山林をいう。

保有山林＝所有山林－貸付山林＋借入山林

８ 利用上の注意

（１）数値について

この結果の数値は，農林水産省が公表する確定値である。

（２）地区名の表記について

ア　地区名は昭和 25 年 2 月 1 日現在の市区町村名を示しており，それらの区域は当時の区域と同一である。

イ　地区名の表記については，以下のとおりである。

旧市内：旭川市
神居　：神居村
江丹別：江丹別村
永山　：永山村
東旭川：東旭川村
神楽　：神楽町
東鷹栖：東鷹栖村

Ⅱ　結果の概要

2020 年農林業センサスの結果は次のとおりである（前回比は 2015 年農林業センサスの結果との比較である。）。

農林業経営体数	**966 経営体**	**（前回比 23.8%減）**
農業経営体数	**902 経営体**	**（前回比 24.6%減）**
（うち個人経営）	**(832) 経営体**	**（前回比 26.0%減）**
経営耕地総面積	**11,596 ha**	**（前回比 12.2%減）**
乳用牛飼養経営体数	**16 経営体**	**（前回比 15.8%減）**
乳用牛飼養頭数	**677 頭**	**（前回比 25.4%減）**
肉用牛飼養経営体数	**19 経営体**	**（前回比 20.8%減）**
基幹的農業従事者数※	**1,616 人**	**（前回比 23.2%減）**
農家数	**1,116 戸**	**（前回比 22.0%減）**
林業経営体数	**95 経営体**	**（前回比 39.1%減）**
（うち個人経営）	**(76) 経営体**	**（前回比 40.2%減）**

※農業経営体のうち個人経営体分。

1　農林業経営体

～農林業経営体数は 966 経営体となり，減少が続く～

令和 2 年 2 月 1 日現在の農林業経営体は 966 経営体であり，農業経営体はその 9 割を超える 902 経営体で，うち 832 経営体が個人経営によるものである。

また，林業経営体は 95 経営体で，うち 76 経営体が個人経営によるものである。

これを前回調査と比べると，農林業経営体全体が 23.8%，農業経営体が 24.6%，林業経営体が 39.1%，それぞれ減少した。

表 1　農林業経営体数

単位：経営体，%

年次	農林業経営体	農業経営体	うち個人経営	林業経営体	うち個人経営
２０１５年	1,267	1,196	1,125	156	127
２０２０年	**966**	**902**	**832**	**95**	**76**
増減数	△ 301	△ 294	△ 293	△ 61	△ 51
増減率	△ 23.8	△ 24.6	△ 26.0	△ 39.1	△ 40.2

（注）農業経営と林業経営の両方を行う経営体は，農業経営体と林業経営体それぞれに含まれるため，農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しない。

２ 農業経営体

（１）農業経営体数

ア　組織形態別経営体数

～農業経営体数が減少する中，法人化している経営体の割合は増加～

農業経営体を組織形態別にみると，法人化していない経営体が 836 経営体（構成比 92.7%）と大部分を占めており，法人化している経営体は 65 経営体（同 7.2%），地方公共団体・財産区は 1 経営体（同 0.1%）であった。

これを前回調査と比べると，法人化している経営体の構成比が 1.5%増加しており，農業経営体の法人化が進んでいる。

表 2　組織形態別農業経営体数

単位：経営体，%

年次		総数	法人化している					地方公共団体・財産区	法人化していない	
			小計	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人			個人経営体
実数	2015年	1,196	68	6	50	6	6	1	1,127	1,125
	2020年	**902**	**65**	**5**	**57**	**1**	**2**	**1**	**836**	**832**
対前回比	増減数	△ 294	△ 3	△ 1	7	△ 5	△ 4	－	△ 291	△ 293
	増減率	△ 24.6	△ 4.4	△ 16.7	14.0	△ 83.3	△ 66.7	－	△ 25.8	△ 26.0
構成比	2015年	100.0	5.7	0.5	4.2	0.5	0.5	0.1	94.2	94.1
	2020年	**100.0**	**7.2**	**0.6**	**6.3**	**0.1**	**0.2**	**0.1**	**92.7**	**92.2**

イ　経営耕地面積規模別経営体数

～農業経営体の大規模化が進む～

農業経営体を経営耕地面積規模別にみると，20ha 以上規模が 172 経営体（構成比 19.1%）で最も多く，次いで 1～3ha 規模の 164 経営体（同 18.2%），10～20ha 規模の 162 経営体（同 18.0%）の順となっている。

これを前回調査と比べると，全ての規模で減少しているが，20ha 以上規模では 5.5%の減少にとどまっている。

表 3　経営耕地面積規模別農業経営体数

単位：経営体，%

年次		総数	1ha未満	1 ～ 3ha	3 ～ 5ha	5 ～ 10ha	10 ～ 20ha	20ha以上
実数	2015年	1,196	179	248	171	205	211	182
	2020年	**902**	**137**	**164**	**118**	**149**	**162**	**172**
対前回比	増減数	△ 294	△ 42	△ 84	△ 53	△ 56	△ 49	△ 10
	増減率	△ 24.6	△ 23.5	△ 33.9	△ 31.0	△ 27.3	△ 23.2	△ 5.5
構成比	2015年	100.0	15.0	20.7	14.3	17.1	17.6	15.2
	2020年	**100.0**	**15.2**	**18.2**	**13.1**	**16.5**	**18.0**	**19.1**

（注）1ha未満には，経営耕地なしの経営体を含む。

ウ　農産物販売金額規模別経営体数

～3,000 万円以上の農業経営体が増加～

農業経営体を農産物販売金額規模別にみると，3,000 万円以上規模が 218 経営体（構成比 24.2%）と最も多く，次いで 1,000～3,000 万円規模の 215 経営体（同 23.8%），50～300 万円規模の 140 経営体（同 15.5%）の順となった。

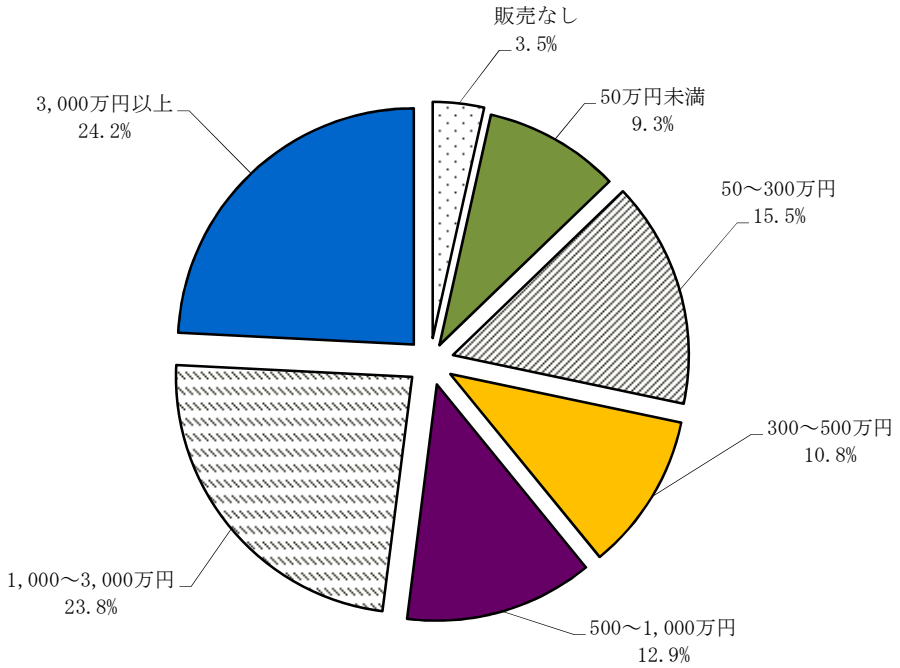
これを前回調査と比べると，3,000 万円以上規模を除き，全ての規模で減少している。

表 4　農産物販売金額規模別農業経営体数

単位：経営体，%

年次		総数	販売なし	50万円未満	50～300	300～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000万円以上
実数	2015年	1,196	70	122	282	136	200	318	68
	2020年	**902**	**32**	**84**	**140**	**97**	**116**	**215**	**218**
対前回比	増減数	△ 294	△ 38	△ 38	△ 142	△ 39	△ 84	△ 103	150
	増減率	△ 24.6	△ 54.3	△ 31.1	△ 50.4	△ 28.7	△ 42.0	△ 32.4	220.6
構成比	2015年	100.0	5.9	10.2	23.6	11.4	16.7	26.6	5.7
	2020年	**100.0**	**3.5**	**9.3**	**15.5**	**10.8**	**12.9**	**23.8**	**24.2**

図 1　農業経営体の農産物販売金額規模別構成（2020 年）



エ　農産物販売金額１位の部門別経営体数

～稲を１位とする経営体が約６割～

農作物を販売した農業経営体を，農産物販売金額が１位となった部門別にみると，稲が505経営体（構成比58.0%）で最も多く，次いで施設野菜の119経営体（同13.7%），雑穀・いも類・豆類の90経営体（同10.3%）の順となった。

これを前回調査と比べると，全体で256経営体（22.7%）の減少となった。

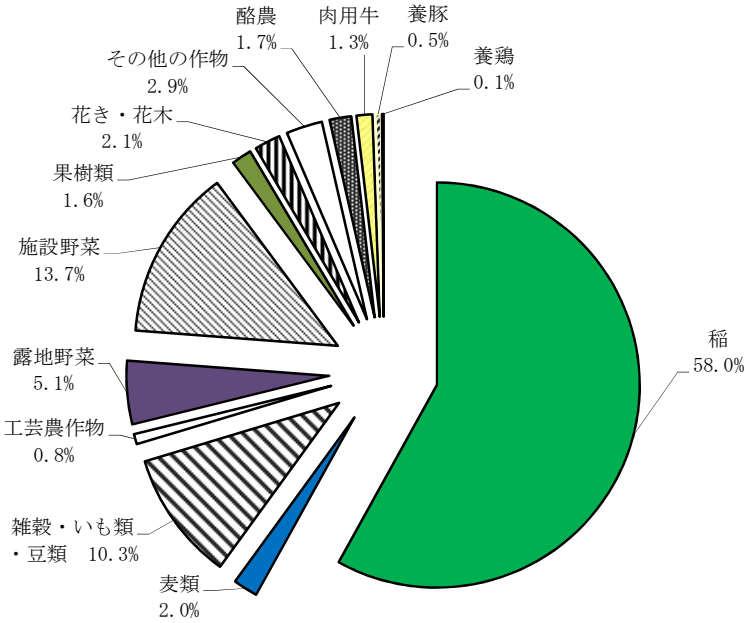
表５　農産物販売金額１位の部門別農業経営体数

単位：経営体，%

年次		総数	稲	麦類	雑穀・いも類・豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類
実数	2015年	1,126	671	15	96	3	62	157	24
	2020年	**870**	**505**	**17**	**90**	**7**	**44**	**119**	**14**
対前回比	増減数	△ 256	△ 166	2	△ 6	4	△ 18	△ 38	△ 10
	増減率	△ 22.7	△ 24.7	13.3	△ 6.3	133.3	△ 29.0	△ 24.2	△ 41.7
構成比	2015年	100.0	59.6	1.3	8.5	0.3	5.5	13.9	2.1
	2020年	**100.0**	**58.0**	**2.0**	**10.3**	**0.8**	**5.1**	**13.7**	**1.6**

年次		花き・花木	その他の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	養蚕	その他の畜産
実数	2015年	27	32	18	14	5	1	－	1
	2020年	**18**	**25**	**15**	**11**	**4**	**1**	**－**	**－**
対前回比	増減数	△ 9	△ 7	△ 3	△ 3	△ 1	－	－	△ 1
	増減率	△ 33.3	△ 21.9	△ 16.7	△ 21.4	△ 20.0	－	－	△ 100.0
構成比	2015年	2.4	2.8	1.6	1.2	0.4	0.1	－	0.1
	2020年	**2.1**	**2.9**	**1.7**	**1.3**	**0.5**	**0.1**	**－**	**－**

図２　農業経営体の農産物販売金額１位の部門別構成（2020年）



（２）経営耕地の状況

～経営耕地面積は減少する中，畑面積は増加～

経営耕地面積は 11,596ha で，前回調査と比べ 1,605ha（12.2%）減少した。このうち田の面積が 1,858ha（18.5%）減少，畑の面積が 256ha（8.2%）増加となっている。

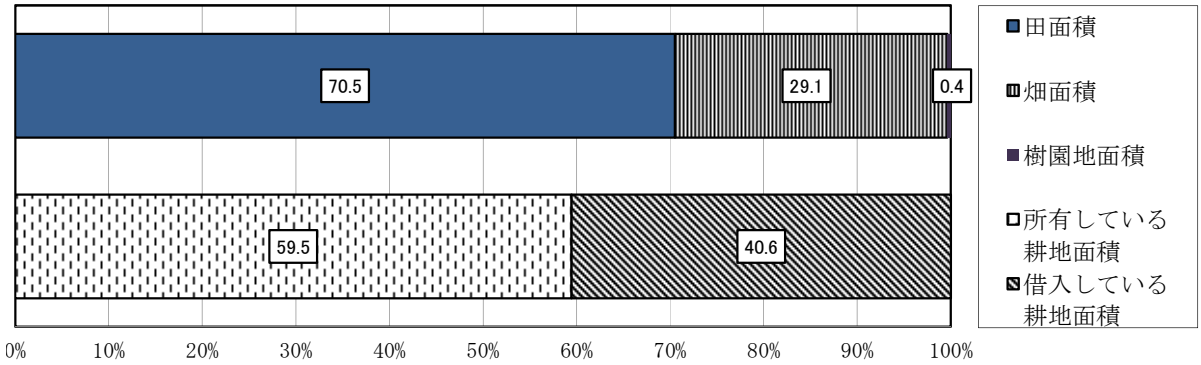
また，経営耕地面積のうち，所有している耕地面積は 6,894ha（構成比 59.5%）で，借入している耕地面積は 4,703ha（同 40.6%）であり，前回調査と比べると所有耕地面積は 14.4%減少し，借入耕地面積は 8.6%減少となった。

表 6　経営耕地の状況

単位：経営体，ha，%

年次		経営耕地のある経営体	経営耕地総面積	田面積	畑面積	樹園地面積	うち所有している耕地面積	うち借入している耕地面積	1 経営体当たり耕地面積
実数	2015年	1,177	13,201	10,036	3,119	45	8,053	5,148	11.2
	2020年	**891**	**11,596**	**8,178**	**3,375**	**43**	**6,894**	**4,703**	**13.0**
対前回比	増減数	△ 286	△ 1,605	△ 1,858	256	△ 2	△ 1,159	△ 445	1.8
	増減率	△ 24.3	△ 12.2	△ 18.5	8.2	△ 4.4	△ 14.4	△ 8.6	16.0
構成比	2015年	100.0	100.0	76.0	23.6	0.3	61.0	39.0	8.1
	2020年	**100.0**	**100.0**	**70.5**	**29.1**	**0.4**	**59.5**	**40.6**	**0.1**

図 3　経営耕地の状況（2020 年）



（３）農作物

～作付実経営体数は減少～

農作物を販売目的で作付（栽培）している実経営体数は，867 経営体で，前回調査と比べ 242 経営体（21.8%）減少した。

稲を作付けしている経営体数は秘匿情報となっているが，参考までに水稲（食用）を作付けしている経営体数は 550 経営体であった。

表７　農作物の類別作付（栽培）農業経営体数

単位：経営体，％

年次		作付（栽培）実経営体数	稲	麦類	雑穀	いも類	豆類	工芸農作物	野菜類	花き類・花木	果樹類	その他の作物
実数	2015年	1,109	732	152	314	51	208	24	470	40	33	89
	2020年	**867**	**X**	**140**	**238**	**34**	**164**	**X**	**322**	**30**	**23**	**78**
対前回比	増減数	△ 242	△ 732	△ 12	△ 76	△ 17	△ 44	△ 24	△ 148	△ 10	△ 10	△ 11
	増減率	△ 21.8	…	△ 7.9	△ 24.2	△ 33.3	△ 21.2	…	△ 31.5	△ 25.0	△ 30.3	△ 12.4

（４）家畜等

～牛・豚・鶏の飼養経営体数が減少～

家畜等を飼養している経営体数は，前回調査と比べ，肉用牛が５経営体（20.8%），乳用牛が３経営体（15.8%），豚及び採卵鶏が２経営体ずつ（豚が 28.6%，採卵鶏が 66.7%）減少し，きのこの栽培を行っている経営体とその他の農業経営を行っている経営体はそれぞれ増加した。

また，飼養頭羽数は，豚が 6,234 頭（41.0%）増加し，乳用牛が 231 頭（25.4%）減少した。

表８　家畜等を販売目的で飼養している農業経営体数と飼養頭羽数

単位：経営体，頭，羽，％

畜種	２０１５年		２０２０年		増減率		1経営体当たりの飼養頭羽数（2020年）
	経営体数	飼養頭羽数	**経営体数**	**飼養頭羽数**	経営体数	飼養頭羽数	
乳用牛	19	908	**16**	**677**	△ 15.8	△ 25.4	42.3
肉用牛	24	X	**19**	**1,737**	△ 20.8	…	91.4
豚	7	15,220	**5**	**21,454**	△ 28.6	41.0	4,290.8
採卵鶏	3	150,775	**1**	**X**	△ 66.7	…	…
きのこの栽培	2	－	**4**	**－**	100.0	－	－
その他の農業経営	5	－	**6**	－	20.0	－	－

（注）その他の農業経営は，馬，羊，やぎなどの飼養，養蜂，養蚕などである。

（５）後継者

～後継者のいる経営体は約２割～

後継者を確保している経営体数は 186 経営体（構成比 20.6%）であり，確保していない経営体数は 646 経営体（同 71.6%）となった。

表 9　後継者の確保状況別農業経営体数

単位：経営体，%

年次		総数	後継者を確保している				５年以内に農業経営を引き継がない	確保していない
			小計	親族	親族以外の経営内部の人材	経営外部の人材		
実数	2015年	－	－	－	－	－	－	－
	2020年	**902**	**186**	**167**	**12**	**7**	**70**	**646**
対前回比	増減数	－	－	－	－	－	－	－
	増減率	－	－	－	－	－	－	－
構成比	2015年	－	－	－	－	－	－	－
	2020年	**100.0**	**20.6**	**18.5**	**1.3**	**0.8**	**7.8**	**71.6**

（注）2015年は販売農家（世帯）のみを対象としているため，比較できない。

（６）基幹的農業従事者（個人経営体）

～基幹的農業従事者数は減少し，高齢化が進む～

基幹的農業従事者数は 1,616 人で，前回調査と比べ 488 人（23.2%）減少した。

年齢階層別でみると，40～49 歳階層で前回調査より増加しているがそれ以外の階層は減少し，65 歳以上階層が全体の約 6 割を占めている。

表 10　男女別年齢階層別基幹的農業従事者数

単位：人，%

年次			総数	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
実数	2015年	総数	2,104	60	137	172	297	352	1,086
		男	1,158	48	100	109	139	173	589
		女	946	12	37	63	158	179	497
	2020年	**総数**	**1,616**	**27**	**110**	**181**	**191**	**170**	**937**
		男	**922**	**25**	**87**	**112**	**105**	**84**	**509**
		女	**694**	**2**	**23**	**69**	**86**	**86**	**428**
対前回比	増減数	総数	△ 488	△ 33	△ 27	9	△ 106	△ 182	△ 149
	増減率	総数	△ 23.2	△ 55.0	△ 19.7	5.2	△ 35.7	△ 51.7	△ 13.7
構成比	2015年	総数	100.0	2.9	6.5	8.2	14.1	16.7	51.6
	2020年	**総数**	**100.0**	**1.7**	**6.8**	**11.2**	**11.8**	**10.5**	**58.0**

3 総農家数

～農家数の減少傾向は続く～

販売農家と自給的農家を合わせた総農家数は，1,116 戸と前回調査と比べて 315 戸（22.0%）減少しており，減少傾向が続いている。

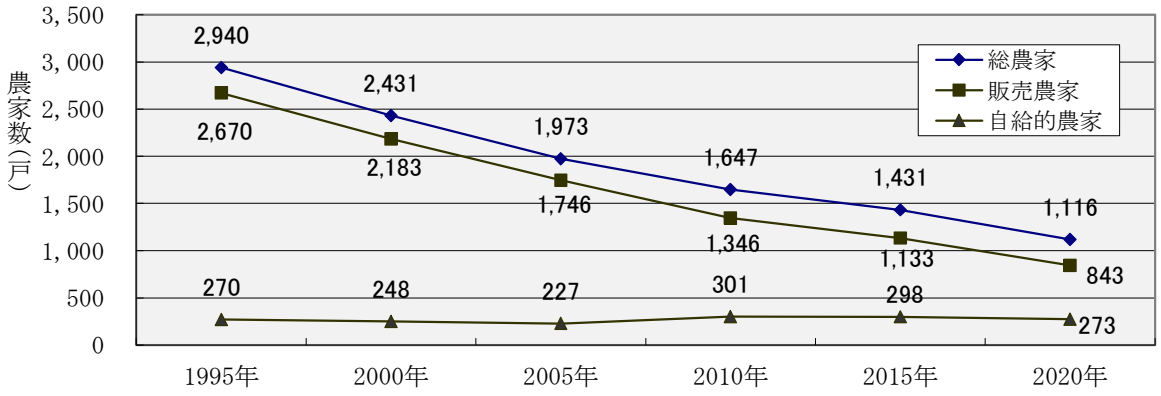
その内訳をみると，販売農家が 843 戸で 25.6%減少し，自給的農家は 273 戸で 8.4%の減少となっている。

表 11　総農家数

単位：戸，%

年　次	実　数			構　成　比			増　減　率		
	総農家	販　売 農　家	自給的 農　家	総農家	販　売 農　家	自給的 農　家	総農家	販　売 農　家	自給的 農　家
1995年	2,940	2,670	270	100.0	90.8	9.2	△ 21.6	△ 22.7	△ 8.8
2000年	2,431	2,183	248	100.0	89.8	10.2	△ 17.3	△ 18.2	△ 8.1
2005年	1,973	1,746	227	100.0	88.5	11.5	△ 18.8	△ 20.0	△ 8.5
2010年	1,647	1,346	301	100.0	81.7	18.3	△ 16.5	△ 22.9	32.6
2015年	1,431	1,133	298	100.0	79.2	20.8	△ 13.1	△ 15.8	△ 1.0
2020年	**1,116**	**843**	**273**	**100.0**	**75.5**	**24.5**	**△ 22.0**	**△ 25.6**	**△ 8.4**

図 4　農家数の推移



4 林業経営体

林業経営体を組織形態別にみると，法人化していない経営体が 76 経営体（構成比 80.0%）と大部分を占めており，法人化している経営体が 17 経営体（同 17.9%），地方公共団体・財産区が 2 経営体（同 2.1%）であった。

また，保有山林面積規模別にみると，5～10ha 規模が 32 経営体（同 33.7%）で最も多く，次いで 10～20ha 規模の 18 経営体（同 18.9%），3～5ha 規模の 16 経営体（同 16.8%）の順となっている。

過去 1 年間に林産物の販売を行った経営体は，23 経営体（同 24.2%）であった。

表 12　組織形態別林業経営体数

単位：経営体，％

年次		総数	法人化している					地方公共団体・財産区	法人化していない
			小計	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人		
実数	2015年	156	26	－	22	2	2	2	128
	2020年	**95**	**17**	**－**	**15**	**1**	**1**	**2**	**76**
対前回比	増減数	△ 61	△ 9	－	△ 7	△ 1	△ 1	－	△ 52
	増減率	△ 39.1	△ 34.6	－	△ 31.8	△ 50.0	△ 50.0	－	△ 40.6
構成比	2015年	100.0	16.7	－	14.1	1.3	1.3	1.3	82.1
	2020年	**100.0**	**17.9**	**－**	**15.8**	**1.1**	**1.1**	**2.1**	**80.0**

表 13　保有山林面積規模別林業経営体数

単位：経営体，％

年次		総数	保有山林なし	3ha未満	3～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100～500	500～1,000	1,000ha以上
実数	2015年	156	6	－	25	58	34	4	8	9	7	1	4
	2020年	**95**	**6**	**－**	**16**	**32**	**18**	**5**	**4**	**5**	**5**	**1**	**3**
対前回比	増減数	△ 61	－	－	△ 9	△ 26	△ 16	1	△ 4	△ 4	△ 2	－	△ 1
	増減率	△ 39.1	－	－	△ 36.0	△ 44.8	△ 47.1	25.0	△ 50.0	△ 44.4	△ 28.6	－	△ 25.0
構成比	2015年	100.0	3.8	－	16.0	37.2	21.8	2.6	5.1	5.8	4.5	0.6	2.6
	2020年	**100.0**	**6.3**	**－**	**16.8**	**33.7**	**18.9**	**5.3**	**4.2**	**5.3**	**5.3**	**1.1**	**3.2**

表 14　林産物販売金額規模別林業経営体数

単位：経営体，％

年次		総数	販売なし	50万円未満	50～100	100～500	500～1,000	1,000～5,000	5,000～1億	1億円以上
実数	2015年	156	130	9	4	3	5	1	2	2
	2020年	**95**	**72**	**6**	**2**	**5**	**－**	**4**	**3**	**3**
対前回比	増減数	△ 61	△ 58	△ 3	△ 2	2	△ 5	3	1	1
	増減率	△ 39.1	△ 44.6	△ 33.3	△ 50.0	66.7	△ 100.0	300.0	50.0	50.0
構成比	2015年	100.0	83.3	5.8	2.6	1.9	3.2	0.6	1.3	1.3
	2020年	**100.0**	**75.8**	**6.3**	**2.1**	**5.3**	**－**	**4.2**	**3.2**	**3.2**

Ⅲ 統計資料

第1表　組織形態別農業経営体数

単位：経営体　　令和2年2月1日現在

地区	総数	法人化している													地方公共団体・財産区	法人化していない	
		計	農事組合法人	会社					各種団体				その他の法人				
				小計	株式会社	合名・合資会社	合同会社	相互会社	小計	農協	森林組合	その他の各種団体					個人経営体
全市	**902**	**65**	**5**	**57**	**51**	**1**	**5**	**－**	**1**	**1**	**－**	**－**	**2**	**1**	**836**	**832**
旧市内	30	4	－	3	3	－	－	－	－	－	－	－	1	1	25	25
神居	103	2	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	101	100
江丹別	36	10	3	7	5	－	2	－	－	－	－	－	－	－	26	26
永山	119	4	－	4	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	115	115
東旭川	278	23	1	22	20	1	1	－	－	－	－	－	－	－	255	252
神楽	157	15	－	14	13	－	1	－	1	1	－	－	－	－	142	142
東鷹栖	179	7	1	5	4	－	1	－	－	－	－	－	1	－	172	172

第2表　経営耕地面積規模別農業経営体数

単位：経営体　　令和2年2月1日現在

地区	総数	経営耕地なし	0.3ha未満	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100.0～150.0	150.0ha以上
全市	**902**	**11**	**28**	**40**	**58**	**44**	**42**	**78**	**118**	**149**	**162**	**82**	**52**	**33**	**2**	**3**
旧市内	30	－	5	1	5	3	－	1	6	5	2	－	1	－	－	1
神居	103	4	1	1	7	7	11	9	19	13	20	9	2	－	－	－
江丹別	36	－	－	2	2	3	－	3	5	7	3	5	1	4	－	1
永山	119	3	3	9	7	5	7	12	17	20	16	14	6	－	－	－
東旭川	278	2	11	20	18	19	14	30	32	36	45	21	9	19	1	1
神楽	157	2	2	7	9	4	6	15	17	27	36	9	16	6	1	－
東鷹栖	179	－	6	－	10	3	4	8	22	41	40	24	17	4	－	－

第3表　農産物販売金額規模別農業経営体数

単位：経営体　　令和2年2月1日現在

地区	総数	販売なし	50万円未満	50～100	100～300	300～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000～5,000	5,000万～1億	1～2	2～3	3～5	5億円以上
全市	**902**	**32**	**84**	**49**	**91**	**97**	**116**	**215**	**51**	**161**	**3**	**1**	**－**	**2**
旧市内	30	3	10	3	3	2	1	5	－	3	－	－	－	－
神居	103	6	14	9	11	9	9	21	3	21	－	－	－	－
江丹別	36	3	6	2	4	2	2	6	2	9	－	－	－	－
永山	119	4	12	8	9	12	16	26	5	27	－	－	－	－
東旭川	278	8	26	16	31	32	36	55	16	55	1	－	－	2
神楽	157	5	9	7	17	23	23	54	10	6	2	1	－	－
東鷹栖	179	3	7	4	16	17	29	48	15	40	－	－	－	－

第4表　経営耕地の状況（経営耕地，うち所有，うち借入）（農業経営体）

単位：経営体，a　　令和2年2月1日現在

地区	計						田					
	経営耕地のある経営体数	経営耕地総面積	所有している耕地		借入している耕地		経営耕地のある経営体数	面積	所有している耕地		借入している耕地	
			経営体数	面積	経営体数	面積			経営体数	面積	経営体数	面積
全市	**891**	**1,159,611**	**867**	**689,353**	**411**	**470,258**	**652**	**817,811**	**637**	**425,689**	**357**	**392,122**
旧市内	30	57,571	25	51,832	11	5,739	12	9,929	12	5,421	6	4,508
神居	99	81,196	99	51,581	37	29,615	60	56,687	59	32,066	25	24,621
江丹別	36	87,806	35	71,274	10	16,532	14	23,427	14	20,861	4	2,566
永山	116	101,651	114	56,746	51	44,905	89	92,376	88	48,858	49	43,518
東旭川	276	365,377	264	163,010	125	202,367	196	284,616	187	111,302	109	173,314
神楽	155	218,938	153	147,332	82	71,606	130	137,121	126	80,947	74	56,174
東鷹栖	179	247,072	177	147,578	95	99,494	151	213,655	151	126,234	90	87,421

地区	畑						樹園地					
	経営耕地のある経営体数	面積	所有している耕地		借入している耕地		経営耕地のある経営体数	面積	所有している耕地		借入している耕地	
			経営体数	面積	経営体数	面積			経営体数	面積	経営体数	面積
全市	**530**	**337,499**	**470**	**260,497**	**119**	**77,002**	**23**	**4,301**	**21**	**3,167**	**5**	**1,134**
旧市内	24	47,602	18	46,371	7	1,231	1	40	1	40	－	－
神居	65	21,257	60	17,397	13	3,860	20	3,252	18	2,118	5	1,134
江丹別	30	63,670	29	49,704	6	13,966	1	709	1	709	－	－
永山	67	9,275	63	7,888	9	1,387	－	－	－	－	－	－
東旭川	167	80,461	140	51,408	45	29,053	1	300	1	300	－	－
神楽	99	81,817	94	66,385	21	15,432	－	－	－	－	－	－
東鷹栖	78	33,417	66	21,344	18	12,073	－	－	－	－	－	－

第5表　販売目的の作物の類別作付（栽培）農業経営体数

単位：経営体　　令和2年2月1日現在

地　　区	作　付（栽　培）実経営体数	稲（飼料用を除く）	麦　類	雑　穀	いも類	豆　類	工　芸農作物	野菜類	果樹類	花き類・花木	その他
全　　市	**867**	**X**	**140**	**238**	**34**	**164**	**X**	**322**	**23**	**30**	**78**
旧　市　内	29	X	4	9	1	4	X	13	1	1	6
神　　居	96	X	2	53	2	11	X	37	20	1	8
江　丹　別	30	X	－	16	－	－	X	4	－	－	16
永　　山	117	X	14	18	4	37	X	51	－	7	10
東　旭　川	272	X	46	78	2	63	X	105	1	18	14
神　　楽	151	X	43	58	20	25	X	58	1	2	12
東　鷹　栖	172	X	31	6	5	24	X	54	－	1	12

（注）その他には「稲（飼料用）」を含む。

第6表　自営農業従事日数階層別の基幹的農業従事者数（仕事が主で，主に自営農業に従事した世帯員数）（個人経営体）

単位：人　　令和2年2月1日現在

地区	男女の合計								男								女							
	総数	1～29	30～59	60～99	100～149	150～199	200～249	250日以上	計	1～29	30～59	60～99	100～149	150～199	200～249	250日以上	計	1～29	30～59	60～99	100～149	150～199	200～249	250日以上
全市	**1,616**	**－**	**55**	**83**	**127**	**258**	**448**	**645**	**922**	**－**	**29**	**35**	**52**	**109**	**269**	**428**	**694**	**－**	**26**	**48**	**75**	**149**	**179**	**217**
旧市内	28	－	1	1	6	4	10	6	17	－	1	－	4	1	5	6	11	－	－	1	2	3	5	－
神居	179	－	7	10	14	25	41	82	94	－	3	3	4	15	21	48	85	－	4	7	10	10	20	34
江丹別	42	－	2	7	4	5	7	17	22	－	1	2	2	3	5	9	20	－	1	5	2	2	2	8
永山	231	－	4	11	14	49	72	81	134	－	1	6	7	19	43	58	97	－	3	5	7	30	29	23
東旭川	466	－	18	24	40	63	116	205	260	－	10	10	16	29	69	126	206	－	8	14	24	34	47	79
神楽	293	－	15	17	20	37	75	129	175	－	9	8	10	14	45	89	118	－	6	9	10	23	30	40
東鷹栖	377	－	8	13	29	75	127	125	220	－	4	6	9	28	81	92	157	－	4	7	20	47	46	33

第7表　組織形態別林業経営体数

単位：経営体　　令和2年2月1日現在

地区	総数	法人化している													地方公共団体・財産区	法人化していない	
		計	農事組合法人	会社					各種団体				その他の法人				
				小計	株式会社	合名・合資会社	合同会社	相互会社	小計	農協	森林組合	その他の各種団体					個人経営体
全市	**95**	**17**	**－**	**15**	**15**	**－**	**－**	**－**	**1**	**－**	**1**	**－**	**1**	**2**	**76**	**76**
旧市内	25	9	－	8	8	－	－	－	－	－	－	－	1	1	15	15
神居	9	2	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7	7
江丹別	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	4
永山	10	1	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	8	8
東旭川	20	3	－	2	2	－	－	－	1	－	1	－	－	－	17	17
神楽	17	2	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15	15
東鷹栖	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10	10

第8表　保有山林面積規模別林業経営体数

単位：経営体　　令和2年2月1日現在

地区	総数	保有山林なし	3ha未満	3～5	5～10	10～20	20～30	30～50	50～100	100～500	500～1,000	1,000ha以上
全市	**95**	**6**	**－**	**16**	**32**	**18**	**5**	**4**	**5**	**5**	**1**	**3**
旧市内	25	4	－	4	7	2	2	－	1	2	1	2
神居	9	1	－	－	4	2	－	1	－	1	－	－
江丹別	4	－	－	－	1	1	1	－	1	－	－	－
永山	10	1	－	5	3	－	－	－	－	－	－	1
東旭川	20	－	－	3	8	4	1	1	2	1	－	－
神楽	17	－	－	1	5	6	1	2	1	1	－	－
東鷹栖	10	－	－	3	4	3	－	－	－	－	－	－

第9表　林産物販売金額規模別林業経営体数

単位：経営体　　令和2年2月1日現在

地区	総数	販売なし	50万円未満	50～100	100～300	300～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000～5,000	5,000万～1億	1～2	2～3	3～5	5億円以上
全市	**95**	**72**	**6**	**2**	**4**	**1**	**－**	**2**	**2**	**3**	**2**	**－**	**－**	**1**
旧市内	25	16	4	－	－	－	－	1	1	2	1	－	－	－
神居	9	7	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1
江丹別	4	3	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
永山	10	9	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
東旭川	20	15	1	－	2	－	－	1	1	－	－	－	－	－
神楽	17	14	－	－	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－
東鷹栖	10	8	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

秘
農林水産省

統計法に基づく基幹統計
農林業構造統計

マスコットキャラクター「つっちー」

2020年農林業センサス

農林業経営体調査票

（2020年2月1日現在）

政府統計

統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

	都道府県	市区町村	旧市区町村	農業集落	調査区	客体番号
基本指標番号						
修正がある場合→						

○ 記入する前に、必ず「記入の仕方」をご覧ください。
○ この調査票は、**統計の作成目的以外には使用せず**、得られた個々の結果についても、**外に漏らしたり課税などの資料に利用することはなく、秘密を厳守することが法律により定められています**ので、ありのままをご記入ください。
○ **黒色の鉛筆**または**シャープペンシル**で記入し、間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

★ 数字は、1マスに1つずつ、枠からはみ出さないように**右づめ**で記入してください。

記入例 9876540

つなげる　すきまをあける

★ マスが足りない場合は、一番左のマスにまとめて記入してください。

記入例 1123

★ マークを記入する欄は、下の記入例のように濃くぬりつぶしてください。

記入例 ⓪ → ●

悪い例 ⓪ → ✓ ⊙

○ **調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。**

記入していただく調査項目について

○ この調査票は
☐ 農業経営（　の枠内の　色の項目と、　色の項目）
☐ 林業経営（　の枠内の　色の項目と、　の枠内の　色の項目）
について記入してください。

なお、林業経営を行っている方が　枠について記入していただく場合には、設問の「農業（農産物、農作業）」を「林業（林産物、林業作業）」に読み替えて記入します。

SAMPLE

【1】経営体の概要（すべての方が記入する項目です。）

1　経営形態
経営は会社などの法人化をしていますか。
該当するもの1つに**必ず**記入してください。

				'10'
法人でない				0
法人である	農事組合法人			0
	会社	株式会社		0
		合名・合資会社		0
		合同会社		0
		相互会社		0
	各種団体	農協		0
		森林組合		0
		その他の各種団体		0
	その他の法人			0
地方公共団体・財産区				0

☐ 個人経営の方は、2ページの1 個人経営内部の労働力へ
☐ 団体経営の方は、4ページの2 団体経営内部の労働力へ

法人の方のみ記入してください。

法人番号（13桁）を記入してください。

102

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようにご注意ください。

→ 4ページの2 団体経営内部の労働力へ

特例有限会社は株式会社に該当します。

【２】農業経営の労働力

2、3ページは、個人経営の方のみ記入してください。

法人化されている方は、4ページに記入してください。

1　個人経営内部の労働力

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

（1）世帯員の人数を記入してください。

		男（人）	女（人）
世帯員の数	202		203
そのうち、満14歳以下の世帯員の数（平成17年2月1日以降に生まれた方）	205		206

続柄番号

01:世帯主
02:世帯主の配偶者
03:子
04:子の配偶者
05:世帯主の父母
06:世帯主の配偶者の父母
07:兄弟姉妹
08:祖父母
09:孫
10:孫の配偶者
11:その他

（2）満15歳以上の世帯員（平成17年1月31日以前に生まれた方）について記入してください。

過去1年間でいずれかの決定に参画した方に記入してください。
○生産品目や飼養する畜種の選定・規模の決定
○出荷先の決定
○資金調達
○機械・施設などへの投資
○農地借入・農作業受託の決定
○雇用の決定・管理

① 世帯主との続柄（続柄番号を記入）	② 性別（男・女）	③ 生年月日（該当する元号と出生の年月を記入してください。元号：大正・昭和・平成　出生の年月：年・月）	④ 経営方針決定に関わっている（該当するすべて）	⑤ 過去1年間のふだんの状況（必ず1つに）：主に自営農業を行った	主に農業以外の自営業を主に行った	主に家事・育児・その他であった	主に学生（研修を含む）であった	主に他に勤務した	⑥ 過去1年間で自営農業に従事した日数（管理労働を含む）※「自営農業」には、世帯として請け負った（受託した）農作業を含みます。（必ず1つに）：従事しなかった	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上
経営主																
世帯員1																
世帯員2																
世帯員3																
世帯員4																
世帯員5																
世帯員6																
世帯員7																

SAMPLE

⑥及び⑦欄について、
従事した日数には、経理事務などの管理労働も含みます。
従事した日数には、手伝いなどで従事した場合も含みます。
従事した日数は、**1日を8時間 として計算してください。**
（例）　1日4時間ずつ　→ 2日で1日分
　　毎日1時間ずつ → 8日で1日分

⑦欄について、
農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。
例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン及び海外への輸出などが該当します。

⑦ 過去1年間で農業生産関連事業に従事した日数（管理労働を含む）（必ず1つに）：従事しなかった	1～29日	30～59日	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	⑧ 過去1年間に（該当する方）：新たに親の農業経営を継承	親の農業経営とは別部門を新たに開始

SAMPLE

（3）世帯としての所得
世帯としての所得は、自営農業と自営農業以外の仕事でどちらが多いですか。
該当するものに**必ず**記入してください。

自営農業による所得が多い	208	0
自営農業以外の所得が多い（不動産による所得は含み、年金は含まない）		0

（4）地域の集落営農組織の構成農家
地域の集落営農組織に参加していますか。
該当するものに**必ず**記入してください。

参加していない	209	0
参加している	210	0
そのうち、オペレータとして従事	211	0

→ 次ページの 3　後継者へ

⑤及び⑧欄について、
過去1年間のふだんの状況（⑤）欄の「主に自営農業を行った」に記入された方のみ、⑧欄の過去1年間に「新たに親の農業経営を継承」または「親の農業経営とは別部門を新たに開始」に該当すれば記入してください。
なお、「新たに親の農業経営を継承」とは、**過去1年間に**親の農業経営を継承して経営の責任者になった方をいいます。
「親の農業経営とは別部門を新たに開始」とは、**過去1年間に**新たに親とは別部門での農業経営を開始し、その部門の経営の責任者となった方をいいます。

団体経営の方（経営を法人化している農家・林家を含む）のみ記入してください。

2　団体経営内部の労働力

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

(1) 経営主と、役員（代理を委任された者を含む）・構成員のうち過去1年間に農業と農業生産関連事業への従事日数があわせて60日以上の方について、記入してください。

(1)、(2)に記入するのは、経営主のほか、役員・構成員のうち、過去1年間に農業（管理労働を含む。）または農業生産関連事業に従事した者のみです。役員会に出席するだけの者は、記入する必要はありません。
また、常雇い、臨時雇いの労働力は含みません。

従事した日数は、**1日を8時間 として計算してください。**
（例）　1日4時間ずつ　→ 2日で1日分
　　毎日1時間ずつ → 8日で1日分

	① 性別（いずれかに） 男	女	② 出生の年月（該当する元号と出生の年月を記入してください。） 元号 大正	昭和	平成	出生の年月 年	月	③ 過去1年間で農業に従事した日数（管理労働を含む） 60日未満	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	④ 過去1年間で農業生産関連事業に従事した日数（管理労働を含む） 60日未満	60～99日	100～149日	150～199日	200～249日	250日以上	⑤ 過去1年間の主な状況 主に農業に従事	主に農業以外の事業に従事
								必ず1つに						必ず1つに						必ず1つに	
経営主	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) (1)に記入した方以外で、過去1年間に農業と農業生産関連事業への従事日数があわせて60日未満の方について、実人数を記入してください。

	男（人）				女（人）			
222					223			

農業生産関連事業とは、自ら経営していて、①自家で生産した農産物を使用、②所有または借り入れている耕地もしくは農業施設を利用している、のいずれかに該当する事業を行う場合をいいます。
例えば、農産物の加工、小売業、観光農園、貸農園・体験農園、農家民宿、農家レストラン及び海外への輸出などが該当します。

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

3　後継者

5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者（予定者を含む。）を確保していますか。
該当するもの1つに**必ず**記入してください。

確保している	親族	231	0
	親族以外の経営内部の人材		0
	経営外部の人材		0
経営を開始または継承直後のため、5年以内に農業を引き継がない			0
確保していない			0

林業経営について記入していただく場合、設問の「農業」を「林業」に読み替えて記入します。

常雇い、臨時雇いには、1(2)の個人経営の世帯員及び2(1)・(2)の団体経営の経営主・役員などは含めないでください。
常雇いについては、常雇いしている方全員を記入していただくため、5人以上の常雇いがいた場合は、補助票に記入してください。
従事日数には、管理労働を含みます。
常雇いの従事日数の合計には、補助票に記入していただいた分を含め、常雇いしている方全員の従事日数の合計を記入してください。

4　常雇い

過去1年間に農業経営または農業生産関連事業のために常雇いした人（あらかじめ7か月以上の契約で雇った人）について、記入してください。また、男女別に従事した日数の合計を記入してください。

	① 性別（いずれかに） 男	女	② 出生の年月（該当する元号と出生の年月を記入してください。） 元号 大正	昭和	平成	出生の年月 年	月
1	0	0	0	0	0		
2	0	0	0	0	0		
3	0	0	0	0	0		
4	0	0	0	0	0		

5　臨時雇い

過去1年間に日雇・季節雇などで、農業経営または農業生産関連事業のために臨時雇いした人（手伝いなどを含みます。）について、実人数と男女別に従事した日数の合計を記入してください。

	農業 実人数（人）	農業生産関連事業 実人数（人）
男	252	268
女	253	269

	農業 従事日数の合計（人日）	農業生産関連事業 従事日数の合計（人日）
男	255	261
女	256	262

過去1年間に農業経営または農業生産関連事業のために**1か月以上の契約で雇った人**について、実人数を記入してください。

	農業 従事日数の合計（人日）	農業生産関連事業 従事日数の合計（人日）
男	242	245
女	243	246

	農業 実人数（人）	農業生産関連事業 実人数（人）
男	264	267
女	265	268

【3】土地

土地の状況を記入してください。（土地登記簿上の地目や面積ではなく、現状の地目や面積を記入してください。
また、居住地以外の他の市区町村にある土地を含みます。）

田・畑・樹園地

		田 (ha)(町)(反)	(a)(畝)	畑 (ha)(町)(反)	(a)(畝)	樹園地 (ha)(町)(反)	(a)(畝)
経営している	301			311		321	
そのうち、所有している	302			312		322	
そのうち、借りている	303			313		323	
貸している	304			314		324	

実質的に経営を任せている場合は「貸している」に記入してください。
原野化し、現状が耕地でないものは除きます。

経営している畑のうち、牧草専用地	326	

耕地以外（山林・原野など）

山林・原野などの耕地以外の土地で過去1年間に採草地や放牧地として利用した土地面積を記入してください。

		(ha)(町)(反)	(a)(畝)
耕地以外で利用した土地面積	341		

ハウス・ガラス室等

過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室及び加温温室の実面積を記入してください。

ハウス・ガラス室とは、その中で普通の姿勢で作業できるものをいいます。
水稲の育苗だけ、きのこの栽培だけに利用したものは除きます。

		実面積 (a)(畝)	(㎡)
ハウス・ガラス室	351		
そのうち、加温温室	362		

SAMPLE

【４】農業生産

始めから販売を目的とせず、自給用に作付け（栽培）した面積は含めないでください。

1　過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した**延べ面積**を記入してください。

未成熟の豆類（「えだまめ」、「さやいんげん」、「さやえんどう」、「グリンピース」など）はここに含めず、「その他の野菜」に記入してください。
「その他の工芸農作物」には、たばこ、いぐさ、ホップ、ごま、ラベンダー、薬用作物などの合計を記入してください。

			(ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)
稲・麦・雑穀	水　稲（食用）	403			
	陸　稲（食用）	404			
	稲（飼料用）	405			
	小　麦	407			
	そのうち、田で作付	408			
	二条大麦	409			
	六条大麦	410			
	裸　麦	411			
	そ　ば	413			
	その他の雑穀（あわ、きび、ひえ等）	414			
いも類	原料用ばれいしょ（でんぷん用）	416			
	食用ばれいしょ（加工用を含む）	417			
	原料用かんしょ（でんぷん用）	418			
	食用かんしょ（加工用を含む）	419			
豆類	大　豆	421			
	そのうち、田で作付	422			
	小　豆	423			
	その他の豆類	424			
工芸農作物	さとうきび	426			
	なたね	427			
	茶	428			
	てんさい（ビート）	429			
	こんにゃくいも	430			
	その他の工芸農作物	431			

稲・麦・雑穀、いも類、豆類、工芸農作物の面積がある方のみ記入してください。

2　水稲（食用）、小麦、大豆以外の上記品目（稲・麦・雑穀、いも類、豆類、工芸農作物）について、販売を目的として田で作付けした面積を記入してください。

	(ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)
432			

田で作付けた面積のみを記入し、畑で作付けた面積は記入しないでください。

3　過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した野菜・果樹類の品目コード及び**延べ面積**を露地作、施設作ごとに記入してください。

野菜・果樹

品目コード

根菜類	101:だいこん 102:にんじん 103:さといも 104:やまのいも（たかいもなど）
葉茎菜類	111:はくさい 112:キャベツ 113:ほうれんそう 114:レタス 115:ねぎ 116:たまねぎ 117:ブロッコリー
果菜類	121:きゅうり 122:なす 123:トマト 124:ピーマン
野菜業務的	131:いちご 132:メロン 133:すいか
	191:その他の野菜
果樹類	201:温州みかん 202:その他のかんきつ 203:りんご 204:ぶどう 205:日本なし 206:西洋なし 207:もも 208:おうとう 209:びわ 210:かき 211:ぐり 212:うめ 213:すもも 214:キウイフルーツ 215:パインアップル 216:その他の果樹

	品目コード	露地作延べ面積 (ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)	施設作延べ面積 (a)(畝)	(㎡)
①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						

「その他の野菜」には、「もやし」、「えだまめ」、「スイートコーン」、「ごぼう」、「にら」、「かぼちゃ」、「アスパラガス」など該当しなかった野菜の合計を記入してください。
果樹類の面積には、未成園を含みます。

4　過去1年間に販売を目的として作付け（栽培）した花き・花木及びその他作物の延べ面積を露地作、施設作ごとに記入してください。

花き・花木

花き苗、花木苗を含みます。

		露地作延べ面積 (ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)	施設作延べ面積 (a)(畝)	(㎡)
花　き	463				464	
花　木	465				466	

花きの露地、施設面積がある方のみ記入してください。

切り花類	467	0
球根類	468	0
鉢もの類	469	0
花壇用苗もの類	470	0

その他の作物

		露地作延べ面積 (ha)(町)	(a)(反)	(a)(畝)	施設作延べ面積 (a)(畝)	(㎡)
その他の作物	472				473	

販売を目的として栽培した水稲苗、野菜苗、果樹苗、造林用の苗木、芝、稲以外の飼料用作物、青刈り作物など、どの欄にも該当しなかった作物の合計を記入してください。

家畜

共同放牧をしたり、外部に預託している家畜を含めます。
会社などから飼養を委託されて飼養管理しているもの（家畜・飼料などは委託側から提供され、飼養管理労働のみに従事した場合）は除きます。

5　現在、飼っている牛の頭数を目的別に記入してください。

			(万)	(千)	(百)	(十)	(頭)
総　数			475				
搾乳目的	2歳（24か月齢）以上		477				
	2歳（24か月齢）未満		479				
販売目的	和牛などの肉用種	子取り用めす牛	480				
		肥育中の牛（肉用として販売）	481				
		売る予定の子牛など（種おすを含む）	482				
	和牛と乳用種の交雑種	肥育中の牛（肉用として販売）	484				
		売る予定の子牛（肥育用もと牛として販売）	485				
	肉用として飼っている乳用種	肥育中の牛（肉用として販売）	487				
		売る予定の子牛（肥育用もと牛として販売）	488				

搾乳する予定のない子牛は、「売る予定の子牛（など）（482,485,488）」に種類ごとに記入してください。

6　現在、販売する予定で飼っている豚の頭数を記入してください。

		(万)	(千)	(百)	(十)	(頭)
子取り用めす豚	490					
肥育中の豚	491					

7　現在、卵の販売を目的として飼っている採卵鶏の羽数を記入してください（ひなどりを含みます。）。

		(万)	(千)	(百)	(一)	(羽)
採卵鶏	492					

8　過去1年間に出荷したブロイラーの羽数を記入してください。

		(万)	(千)	(百)	(一)	(羽)
ブロイラー	493					

その他

9　【４】の1から8以外で、販売を目的として、きのこの栽培やその他の農業経営を行っていますか。該当するものに**必ず**記入してください。

行っていない		495	0
行っている	きのこの栽培	496	0
	その他の農業経営	497	0

その他の農業経営には、馬、羊、やぎなどの飼養、養蜂、養蚕などを含みます。

SAMPLE
SAMPLE

【５】過去1年間の農産物の販売

林業経営について記入していただく場合、設問の「農産物」を「林産物」に読み替えて記入します。

1　過去1年間の農産物の販売金額（売上高）について、該当するもの1つに必ず記入してください。

販売金額には、売上金額を記入してください（肥料代、農薬代などの経費を引かない。）。

		コード	
販売なし		501	0
農産物の販売あり	50万円未満		0
	50～100万円未満		0
	100～300万円未満		0
	300～500万円未満		0
	500～1,000万円未満		0
	1,000～3,000万円未満		0
	3,000～5,000万円未満		0
	5,000万～1億円未満		0
	1億円以上		0

「1億円以上」の場合は、1千万円単位で金額を記入してください。

	億 千万円
502	

【農産物の販売金額には次のものを含めます】
- ○ 畜産物、栽培きのこ、養蜂、まゆ、耕地で栽培した林業用の苗木などを含めます。
- ○ 自ら営む農家レストランや農産物加工品の製造に仕向けた農産物の見積金額
- ○ 観光農園を営んでいる場合の入園料（入場料）（入園料金で農産物を一定量収穫させる場合）
- ○ 貯蔵しておいた農産物を過去1年の間に販売した金額
- ○ 売買契約済みであるが、代金を受け取っていない分の見積金額

林産物の販売金額には栽培きのこ、林業用苗木の販売額は含みません。

農産物の販売がある方のみ記入してください。

2　過去1年間の販売金額が上位3位までの該当順位に部門コードを記入し、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

部門コード

01：水稲・陸稲
02：麦類
03：雑穀・いも類・豆類
04：工芸農作物
05：露地野菜
06：施設野菜
07：果樹類
08：花き・花木
09：その他の作物
10：酪農
11：肉用牛
12：養豚
13：養鶏
14：養蜂
15：その他の畜産

	部門コード	割
1位	503	
2位	505	
3位	507	

経営部門が4部門以上である場合は、割合の合計が10に満たないこともあります。
きのこの栽培は「その他の作物」に、地鶏や養蜂は「その他の畜産」に含めます。

3　過去1年間に農産物を販売したすべての出荷先を記入し、そのうち、売上1位の出荷先を記入してください。

		出荷先	
該当するすべてに	農協へ	509	0
	農協以外の集出荷団体へ	510	0
	卸売市場へ	511	0
	小売業者へ	512	0
	食品製造業・外食産業へ	513	0
	消費者に直接販売：自営の農産物直売所で	514	0
	消費者に直接販売：その他の農産物直売所で	515	0
	消費者に直接販売：インターネットで	516	0
	消費者に直接販売：他の方法で（無人販売など）	517	0
	その他へ	518	0

うち売上1位の出荷先（1つに）	519
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0
	0

「消費者に直接販売」には自ら生産した農産物またはそれを使用した加工品を消費者に販売しているものが該当します。
「その他の農産物直売所」には、共同で運営している直売所または他の人が運営している直売所が該当します。

「過去1年間の林産物の販売」関連

林産物の販売がある方のみ記入してください。

4　過去1年間に林産物の販売金額の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

合計に占める割合			割
用材	立木で販売	931	
	素材で販売	932	
ほだ木用原木を販売		933	
特用林産物を販売		934	

【６】過去1年間の農作業の受託（請負）

林業経営について記入していただく場合、設問の「農作業」を「林業作業」に読み替えて記入します。

1　過去1年間の農作業の受託（請負）による料金収入について、該当するもの1つに必ず記入してください。

		コード	
受託料金収入なし		601	0
農作業の受託料金収入あり	50万円未満		0
	50～100万円未満		0
	100～300万円未満		0
	300～500万円未満		0
	500～1,000万円未満		0
	1,000～3,000万円未満		0
	3,000～5,000万円未満		0
	5,000万～1億円未満		0
	1億円以上		0

「1億円以上」の場合は、1千万円単位で金額を記入してください。

	億 千万円
602	

受託料金収入には、農作業とともに、実質的に「経営自体」を引き受けている場合は含めないでください。
その場合は、5ページ【3】土地の借りている土地の面積に記入してください。

農作業の受託料金収入がある方のみ記入してください。

2　水稲作作業で、過去1年間によそから受託した（請け負った）作業の実面積を記入してください。

		コード	実面積 (ha)(町)(反)(a)(畝)
作業ごとに受託	育苗	603	
	耕起・代かき	604	
	田植	605	
	防除	606	
	稲刈り・脱穀	607	
	乾燥・調製	608	
すべての水稲作業を一括して受託		609	

3　さとうきび作業で、過去1年間によそから受託した（請け負った）作業の実面積を記入してください。

		コード	実面積 (ha)(町)(反)(a)(畝)
作業ごとに受託	耕起・整地	610	
	植付け	611	
	中耕・培土	612	
	防除	613	
	収穫	614	
すべてのさとうきび作業を一括して受託		615	

4　水稲、さとうきび以外で、過去1年間によそから受託した（請け負った）農作業すべてに記入してください。

		コード	
該当するすべてに	麦作	616	0
	大豆作	617	0
	野菜作	618	0
	果樹作	619	0
	飼料用作物作	620	0
	工芸農作物作（さとうきび作を除く。）	621	0
	その他の作物作	622	0
	畜産	623	0
	酪農ヘルパー	624	0

「過去1年間の林業作業の受託（請負）」関連

林業作業の受託料金収入がある方のみ記入してください。

5　過去1年間に林業作業の受託料金収入の合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

合計に占める割合		割
造林・保育の受託	941	
素材生産の受託	942	
素材生産（立木買い）	943	

6　過去1年間によそから受託した（請け負った）林業作業の実面積を記入してください。

		コード	実面積 (ha)(町)(反)(a)(畝)
植林		951	
下刈りなど		952	
間伐	切捨間伐	954	
	利用間伐	955	
主伐	受託	957	
	立木買い	958	

他に再委託している面積は含みません。

SAMPLE

【７】農業経営の特徴的な取組

1　農業経営について青色申告を行っていますか。該当するもの1つに**必ず**記入してください。

行っていない			0
行っている	正規の簿記	701	0
	簡易簿記		0
	現金主義		0

2　青色申告を行っていると答えた方について、青色申告を何年間継続して行っていますか。該当するもの1つに**必ず**記入してください。

	1年	2年	3年	4年	5年以上
702	0	0	0	0	0

「正規の簿記」とは損益計算書と貸借対照表が導き出せる組織的な簿記の方式　（一般的には複式簿記をいいます（青色申告特別控除額：最高65万円））。
「簡易簿記」とは「正規の簿記」以外の簡易な帳簿による記帳（青色申告特別控除額：最高10万円）をいいます。
「現金主義」とは現金主義による所得計算の特例を受けているものをいいます（青色申告特別控除額：最高10万円）。
経営を法人化し青色申告を行っている場合は「正規の簿記」に記入してください。

3　有機農業に取り組んでいますか。取り組んでいる場合は、取り組んでいる面積を品目別に記入してください。

取り組んでいない	0
取り組んでいる	0

		(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
水稲	704			
大豆	705			
野菜	706			
果樹	707			
その他	708			

有機農業とは、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しない農業のことで、減化学肥料・減農薬栽培は含みません。
なお、自然農法に取り組んでいる場合や有機JASの認証を受けていない方でも、化学肥料及び農薬を使用せず、遺伝子組換え技術も利用しないで農業に取り組んでいる場合、有機農業に該当します。
なお、販売を目的とせず自給用のみに作付けた（栽培した）場合は、含めません。

4　効率的かつ効果的な農業経営を行うために、データ（財務、市況、生産履歴、生育状況、気象状況、栽培管理などの情報）を活用していますか。
その際、どのようにデータを活用していますか。該当するもの1つに**必ず**記入してください。

データを取得して活用	709	0
データを取得・記録して活用		0
データを取得・分析して活用		0
データを活用した農業を行っていない		0

「データを取得して活用」とは、**スマートフォン、パソコンなどを用いて気象、市況などのデータを取得**し、農業の経営に活用することをいいます。
「データを取得・記録して活用」とは、**スマートフォン、パソコンなどを用いて生産履歴などのデータを取得・記録（記録のみの場合を含む。）**し、農業の経営に活用することをいいます。
「データを取得・分析して活用」とは、「データを取得して活用」や「データを取得・記録して活用」で把握したデータに加え、**センサー、ドローンなどを用いて圃場環境や生育状況などのデータを取得し、専用のアプリなどで分析**して農業の経営に活用することをいいます。

【８】農業生産関連事業

過去1年間の農業生産に関連した売上金額の合計について、該当するもの1つに**必ず**記入し、売上金額がある方は、合計に占める割合をそれぞれ記入してください。

	801
売上なし	0
100万円未満	0
100～500万円未満	0
500～1,000万円未満	0
1,000～5,000万円未満	0
5,000万～1億円未満	0
1～10億円未満	0
10億円以上	0

合計に占める割合		割
農産物の加工	502	
小売業	503	
観光農園	504	
貸農園・体験農園など	505	
農家民宿	506	
農家レストラン	507	
海外への輸出	508	
再生可能エネルギー発電	509	
その他	510	

林業経営を行っている方のみ記入してください。

【９】山林及び林業作業

1　山林について、面積を記入してください。

		(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
所有している山林	902			
そのうち、貸している山林	903			
借りている山林	904			
保有山林（902−903+904）	901			

「貸している山林」には、自分の土地を他人に分収させている山林のほか、他人が地上権の設定をした山林を含めます。
「借りている山林」には、他人の土地に分収している山林のほか、他人の土地に地上権を設定した山林を含めます。

2　保有山林のうち、期間を定めて一連の作業（管理を含む。）を一括して**他に任せている**山林面積を記入してください。

		(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
任せている山林面積	905			

林業経営を委託している面積のことで、地上権を設定している山林や作業ごとに委託（請け負わせ）している山林面積は含まれません。

3　保有山林以外で、期間を定めて一連の作業（管理を含む。）を一括して**他から任されている**山林面積を記入してください。

		(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
任されている山林面積	906			

林業経営を受託している面積のことで、地上権の設定をした山林や作業ごとに受託（請負）している山林面積は含みません。

4　保有山林における**過去5年間の林業作業**について、該当するものすべてに記入してください（委託した（請け負わせた）作業を含みます。）。

該当するすべてに	植林	907	0
	下刈りなど	908	0
	間伐　切捨間伐	909	0
	間伐　利用間伐	910	0
	主伐	911	0

「下刈りなど」には、枝打ち、つる切り、除伐、倒木起こしなどを含みます。

5　保有山林における**過去1年間の実作業面積**について記入してください（委託した（請け負わせた）作業を含みます。）。

		(ha)(町)	(反)	(a)(畝)
植林	912			
下刈りなど	913			
間伐　切捨間伐	914			
間伐　利用間伐	915			
主伐	916			

実作業面積のため、1haの山林に対して、下刈りを2度行った場合でも1haと記入してください。

【10】素材生産

素材生産には間伐のうち素材として利用したものも含みます。

1　保有山林において、自ら伐採した過去1年間の素材生産量を記入してください。

		(m³)
素材生産量	922	

2　受託（請負）もしくは立木買いによる過去1年間の素材生産量を記入してください。

		(m³)
素材生産量	923	
そのうち、立木買いによる	924	

【11】林業従事

過去1年間に常雇いまたは臨時雇いした人のうち、150日以上林業労働に従事した人について、実人数を記入してください。

		実人数（人）
150日以上従事した人	925	

5ページの4常雇いと5臨時雇いに記入のある方は上記に該当する方がいるか確認してください。

【12】都道府県設定項目

1 ○○○○○		991	
2 ○○○○○		992	
3 ○○○○○		993	
4 ○○○○○		994	
5 ○○○○○		995	

SAMPLE
SAMPLE